

# 白石地区 地域づくり 協議会だより

白石地区地域づくり協議会

〒753-0046  
山口市本町1-1-25  
白石地域交流センター内  
TEL 083-941-5959  
FAX 083-941-5966

http://www.y-shiraishi.net/  
携帯・スマホからは上のQRコードでアクセス!



SL「やまぐち」号(撮影/中村誠)

2019年9月1日号 Vol. 74

## 9月8日 SL「やまぐち」号 イベント開催!!

昭和レトロ衣装で手振りをします!!

白石地区のみなさん!!  
午前11:00に  
山口駅に集合!!

お月見  
ディスプレイも  
飾ります!



## 10月6日 SL「やまぐち」号 イベント開催!!

● 駅コンサート(10:30~)  
服部瑛司とアロハエコーズの生演奏  
アロハハイビスカスのフラダンスのコーポ

白石地区のみなさん!!  
午前10:20に  
山口駅に集合!!

OPEN ミニカフェ(10時~12時)

コーヒー・紅茶  
ジュース

無料



## チャレンジ健康づくり講座 白石すっきりボディを目指す会 第5期生大募集!!

9月13日(金)  
締切!!

開講日: 9月28日(土)~(全7回)

時間: 10:00~12:00

場所: 白石地域交流センター2階講堂

内容: 活動量計を使用して継続的に運動をする習慣をつけ、また、健康に効果的な食事やストレッチなども学び、健康体質をつくりまします。

対象: 白石地区在住・在勤の方(原則として全回通して参加して頂ける方)

※卒業生は参加いただけません。希望される方は、別プログラム「新ウォーキングサークル」(会費制:月100円)への参加となります。(→連絡先:吉村哲明083-925-1854)

申込: 白石地区地域づくり協議会(TEL 941-5959)

※参加者には活動量計を貸出します。※詳細は8月に配布したチラシをご覧ください。

定員  
50名

## 食推の健康食のおススメ

### 家族がよろこぶ カルシウム料理教室

日時: 10月7日(月) 10:00~13:00

場所: 白石地域交流センター2階調理室、和室

対象: 白石住民 どなたでも ※託児あり

定員: 20名(先着順)

参加費: 200円(当日ご持参ください)

持参品: エプロン、三角巾、ふきん2枚

申込締切: 10月2日(水)

申込: 白石地区地域づくり協議会(TEL 941-5959)

白石地域交流センター(TEL 922-0381)



## 白石地区人権学習講演会のお知らせ 「みんなちがって、みんないい。 ~みずぶさんのうれしいまなざし~」

講師: 矢崎節夫氏 金子みずぶ 記念館館長

日時: 9月28日(土) 11:00~12:30  
(受付10:40~11:00)

場所: 白石中学校体育館

主催: 白石中学校・白石地区人権学習協議会

後援: 白石地区地域づくり協議会・白石中学校同窓会

参加無料  
申し込み不要  
是非、お越し  
ください

## 令和元年度 移動市長室 「やまぐち車座トーク21」が 開催されます

市民の皆さんと市長が

気軽に語り合う「やまぐち車座トーク21」  
が開催されます。ぜひ、ご参加ください。

(申込不要)

日時: 9月28日(土) 14:00~15:30

会場: 白石地域交流センター2階講堂

ご近所  
お誘い合わせの上  
ご参加ください





第5回

# 木戸孝允邸

## 土佐脱藩浪士の訪問

鴻ノ峯の麓に、糸米川のせせらぎが聞こえてきます。ここは、幕末には志士として国事に奔走。維新後は、明治政府の中枢として近代国家の建設に尽力した木戸孝允の旧邸跡です。

彼がこの地に住居を構えたのは、慶応2年(1866)のことでした。

この年は、「薩長同盟」の締結、「四境戦争」など、薩長両藩が討幕に向け大きく動き出した、そんな年でした。

同年10月22日、四境戦争で最も長期戦となった小倉口の戦いがほぼ終息に向かい、長州藩の勝利が固まった頃、山口に、薩摩藩から島津久光父子の親書を携え、親睦を深めるための修交使がやってきました。

その後、長州藩も答礼使を鹿児島へ派遣することになりましたが、この時、正使に任命されたのが孝允でした。

11月16日、毛利敬親父子の親書を携え、山口を出発した彼は、25日、副使の河北一らとともに鹿児島に到着。そこで大歓迎を受けた彼らは、薩長両藩の協力を論議しました。その後、使命を果たした一行は、12月27日、三田尻へ到着、直ちに山口へと入りました。

この時、孝允に同行していた中のひとりに、土佐脱藩浪士の田中光顕(当時は顕助)がいました。

天保14年(1843)生まれの彼は、当時24歳。孝允よりも10歳年下で、薩長同盟締結の際は、孝允を補佐し、

京都まで同行しました。また彼は、高杉晋作の弟子でもありました。

ある日のこと光顕は、孝允のもとを訪れました。するとそこには松子夫人がいました。光顕は、その当時のことを、次のように回想しています。

「木戸公が山口の糸米に住居せられた時に、私が其の宅に参って、種々の話を聞いたことがある。或る日、公の夫人の翠香院(松子)が、私の着物は垢染で臭気が甚だしいから、洗濯させようと言って、別の着物を出された。それは公の着物であって、之を借りて着たこともあったのである」

当時、忙しく駆けまわっていた光顕は、おそらく、あまり身なりなど構う余裕がなかった木戸孝允旧邸跡(山口市糸米)のでしょう。そして、この時、木戸家では、どのような会話が交わされたのでしょうか。

「顕助、お前、すいー臭いがするぞ。何と、ほうとくないのう。早うそれに着替ええ」

「木戸さん、わたしは、ほがーに臭いますか?」

ここにたたずむと、そんな彼らの会話や笑い声が、緑の風に乗って運ばれて来るようです。



木戸孝允旧邸跡(山口市糸米)

# 山口七夕ちょうちんまつり

6日は台風の為、中止となりましたが、7日のほたる広場は大盛況でした。

ちょうちん飾り付け



願い事叶うかな



山口七夕ちょうちんまつり

白石カフェ大盛況



フラダンス



来年も行きます♪ お楽しみに♪

アロハハイビスカス

忍門館

ビーボー

エイティーンズ